

葛飾区立柴又小学校改築説明会の開催について

1 実施概要

	日時	場所	参加者数	
保護者向け 説明会	2月27日(月) 午後5時00分～午後5時50分	東柴又小 体育館	3名	計 26名
	2月28日(火) 午後5時00分～午後6時00分	柴又小 体育館	4名	
	3月5日(日) 午後3時00分～午後4時20分	柴又小 体育館	16名	
	3月19日(日) 午後3時00分～午後4時05分	東柴又小 体育館	3名	
近隣向け 説明会	2月27日(月) 午後7時00分～午後7時50分	東柴又小 体育館	5名	計 26名
	2月28日(火) 午後7時00分～午後8時00分	柴又小 体育館	8名	
	3月5日(日) 午後1時00分～午後2時00分	柴又小 体育館	11名	
	3月19日(日) 午後1時00分～午後1時25分	東柴又小 体育館	2名	

※YouTube 動画視聴回数 586 回 (令和5年5月2日現在)

2 説明内容

初めに、区の学校改築の状況と、柴又小学校の改築校選定の経緯を説明しました。

次に、柴又小学校の改築に当たっては、学校敷地が狭いことから、改築期間中の教育環境が厳しくなること、近隣の東柴又小学校及び桜道中学校の現状から、両校とも改築を考える時期が近付いていることを説明しました。

このような課題への対応として、柴又小学校と東柴又小学校の統合が前提となる、東柴又小学校を含めた柴又地域の一連の学校改築を考えていることを説明しました。

一連の学校改築の3つのメリットとして、工事期間中も校庭があり、騒音や振動の影響がない、安全な教育環境を確保できることや、工期を短縮できること、地域の子どもたちに最新の教育環境を提供できることを説明しました。

最後に、区及び教育委員会としては、一連の学校改築を進めていくことが最善と考えていること、説明会を通じて皆様の意見を聞いた上で、6月に改築方針を定めたいと考えていることを説明しました。

3 質疑応答及びご意見

別紙のとおり

葛飾区立柴又小学校改築説明会の開催について
1 質疑応答 目次

No.	内容
Q 1	一連の学校改築は方針としてもう決まっているのでしょうか。
Q 2	方針はどのように決定しますか。
Q 3	令和5年6月に方針が決定された場合に、着工時期はいつ頃になりますか。
Q 4	令和5年6月に一連の学校改築で方針が決定された場合に、統合時期はいつ頃になりますか。
Q 5	着工前に統合するのですか。
Q 6	一連の学校改築を進める際に、統合が不可欠となる根拠は何ですか。
Q 7	一連の学校改築は、改築期間中限定の話でしょうか。それとも将来に渡って2校を統合するという意味でしょうか。
Q 8	統廃合の理由を教えてください。
Q 9	一連の学校改築を進める場合、改築事業が完了するのはいつ頃ですか。
Q 10	柴又小学校と東柴又小学校の児童が、工事期間中の仮校舎に通うに当たり、既存校舎は小さいのではないのでしょうか。
Q 11	一連の学校改築を進める場合、どちらの学校を仮校舎としますか。また、新校舎は柴又小学校、東柴又小学校のどちらの敷地に建設しますか。
Q 12	統合するための仮校舎は、校庭に建設しますか。校庭が工事期間中、使用できなくなるのではないのでしょうか。
Q 13	柴又小学校及び東柴又小学校の過去及び現在の児童数、学級数を教えてください。
Q 14	今後の児童数や学級数をどのように見込んでいますか。
Q 15	児童数推計はどのように算出していますか。
Q 16	同じ敷地内で両校の児童が勉強をすると、敷地内が過密になり、体育授業や外遊びなどに支障はありませんか。
Q 17	統合後に建設する新校舎は、既存校舎よりも大きくなると思いますが、現在よりも校庭が狭くなるなど、改築後の教育環境はどのように考えていますか。
Q 18	柴又小学校と東柴又小学校が統合された場合、児童数に合わせて給食の食数を増やす必要がありますが、仮校舎の給食室を広げることや、設備を増やす事は難しいと思います。どのような対応を考えていますか。
Q 19	一連の学校改築を進める際に、小学校の新校舎竣工後に桜道中学校が工事期間中に使用する仮校舎は、小学校に間借りするような状態になると思いますが、校庭や体育館の過密具合等について、説明会や資料配布できる見込み時期はいつですか。
Q 20	狭い柴又小学校の敷地に柴又小学校と東柴又小学校の児童が通える規模の校舎を建設することは可能なのでしょうか。
Q 21	柴又小学校の単独改築の場合と一連の学校改築の場合のそれぞれの着工後の体育授業や学校行事は、別の学校として行われますか、同一の学校として行われますか。
Q 22	現状及び統合後の児童一人当たりの敷地面積を教えてください。

葛飾区立柴又小学校改築説明会の開催について

1 質疑応答 目次

No.	内容
Q 2 3	統合に当たってのデメリットを教えてください。
Q 2 4	統合した場合、多くの児童が柴又街道を横断して通学することになりますが、保護者だけでは対応が難しいと思います。通学の安全確保をどのように行っていくですか。
Q 2 5	統合に当たって、一番負担がかかるのは、子どもたちです。環境が変わることで精神的に不安定になることや、いじめなどが起こる可能性もありますので、その点については手厚くケアしてください。
Q 2 6	改築懇談会で実施するワークショップとはどのようなものですか。
Q 2 7	一連の学校改築後の空いた学校敷地は、どのように活用しますか。
Q 2 8	改築後の事例として東金町小学校の避難所機能について教えてください。
Q 2 9	一連の学校改築を進めていくに当たって、工事中の学校は、避難所としての利用ができなくなると思いますが、その分の代替の避難場所は確保できますか。
Q 3 0	工事期間中、柴又小学校の体育館は、施設開放で使用できなくなりますか。
Q 3 1	今後、近隣住民や保護者が意見を言う場はありますか。
Q 3 2	柴又小学校と東柴又小学校の関係者が平等なところで話し合いをする期間が必要です。その期間がないまま令和5年6月までに方針を決めるというのは乱暴なことだと思います。
Q 3 3	柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校とも耐震の基準は満たしていますか。
Q 3 4	東柴又小学校、桜道中学校とも建て替えをしなければいけない状況なのではないでしょうか、それとも改修工事でも対応できる状況なのではないでしょうか。
Q 3 5	改築後は、机が一回り大きくなると聞いています。改築中の仮校舎であっても大きい机を使用することや、図書館についても新校舎と同等の環境を用意するなど、最新の教育環境で学習することは可能でしょうか。
Q 3 6	最新の教育環境の説明の中で、廊下と普通教室を一体で利用できるとのことですが、具体的な利用方法を教えてください。
Q 3 7	これまで改築を進める中で、児童の精神的な問題などは起きていますか。
Q 3 8	仮に、一連の学校改築を進める場合にも、工事の騒音や振動を完全に防げるわけではないと思いますが、耳当てを配布するなどの対応はとれますか。
Q 3 9	統合することになった場合、保護者に賛成・反対の権限はありますか。また、区議会での議決となりますか。
Q 4 0	柴又小学校と東柴又小学校を合併するという計画は絶対にはないと言えますか。
Q 4 1	説明会の周知はどのように行いましたか。
Q 4 2	改築に当たってプール授業はどうなりますか。
Q 4 3	3校のうち最も古い桜道中学校ではなく、柴又小学校が改築校に選定された理由を教えてください。
Q 4 4	柴又小学校と東柴又小学校が統合された場合、給食委託の作業員数はどうなりますか。
Q 4 5	区内の子供の減少を理由の1つに統廃合の話が出ているということですが、新しい若いご家族の流入、転入などを拒む動きととらえかねない印象です。子の増加を施策として魅力のある学校運営にしてください。

1 質疑応答

Q1 一連の学校改築は方針としてもう決まっているのでしょうか。

A1 現在、区の計画として決定しているのは、柴又小学校の単独改築です。

区及び教育委員会としては、一連の学校改築が最善と考えていますが、現時点では区の計画として決定したものではありません。

学校統合は地域にとって繊細な課題と考えており、説明会やYouTube 動画の配信など、丁寧に説明し、少しでも多くの方々のご意見を聞かせていただいた上で、令和5年5月に一連の学校改築事業を進めるのか、柴又小学校の単独改築を進めるのか、区としての方針を決定し、令和5年6月の区議会に報告したいと考えています。

Q2 方針はどのように決定しますか。

A2 地域の皆様から、より多くのご意見をお聞きした上で、子どもたちのために何が一番良いのかという視点で、最後は区が責任をもって決定します。

Q3 令和5年6月に方針が決定された場合に、着工時期はいつ頃になりますか。

A3 令和5年6月に一連の学校改築で方針が決定した際には、令和5年11月頃に学校関係者や地域の方で構成する改築懇談会を立ち上げて、どちらの敷地にどのような校舎を建てるのかなど、改築に当たってのコンセプトを2年ほどかけて検討し、改築基本構想・基本計画を策定します。その後、さらに2年ほどかけて設計を行いますので、実際に着工するのは4年後を想定しています。

なお、柴又小学校の単独改築となった場合には、改築基本構想・基本計画の策定までの期間は、1年を見込んでおりますので、実際に着工するのは3年後を想定しています。

Q4 令和5年6月に一連の学校改築で方針が決定された場合に、統合時期はいつ頃になりますか。

A4 目安としてですが、令和5年11月頃に改築懇談会を立ち上げて、どちらの敷地に統合校を設置するのか、校名はどうするのか、通学区域や通学路はどうするのかなど、どのように統合を進めていくのかを2年ほどかけて1つ1つ検討して行きます。

統合時期や統合に向けてどのように事業を進めていくのかについては、決定した

時点で地域の方々に改めて説明していきたいと考えていますが、まずは、令和5年6月の方針決定に向け、皆様のご意見をお聞きしたいと考えています。

Q5 着工前に統合するのですか。

A5 統合の手続きは、どちらかの学校に両校の児童が通う時点で行います。

Q6 一連の学校改築で進める際に、統合が不可欠となる根拠は何ですか。

A6 柴又小学校と東柴又小学校を統合せずに一時的に校舎を共同利用する場合は、普通教室が24室、職員室や校長室が2室となります。

東柴又小学校の現校舎に24学級は入らないため、柴又小学校の現校舎と同規模の仮設校舎を、東柴又小学校の校庭に建設することになり、校庭はほぼ使用できなくなることが想定されます。改築後は、柴又小学校の児童のみ新校舎を享受するため、東柴又小学校に過度の負担がかかることになり、現実的ではないと考えています。

また、改築後に新校舎に戻る柴又小学校の児童にとっても、東柴又小学校の児童にとっても先生や児童との人間関係が2度も大きく変わることから、統合を前提として一連の学校改築を進めることが最善であると考えています。

なお、将来、桜道中学校を改築する際に、現敷地での居ながら改築となるため、生徒及び近隣住民の皆様にとって厳しい環境であると考えています。

Q7 一連の学校改築は、改築期間中限定の話でしょうか。それとも将来に渡って2校を統合するという意味でしょうか。

A7 改築期間中限定の話ではなく、将来に渡って2校を統合するという意味です。

Q8 統廃合の理由を教えてください。

A8 柴又小学校の単独改築は、工事期間中、児童への騒音や振動の影響が大きく、校庭での体育授業や外遊び等が制限されること、児童動線と工事車両の動線が交錯するなどの課題があることから、柴又小学校で学校運営を継続しながら改築する以外の手法を模索する中で、柴又地域の一連の学校改築を考えたところです。

柴又小学校と東柴又小学校を統合せずに一時的に東柴又小学校の校舎を共同利

用する場合は、普通教室が24室、職員室や校長室が2室となります。

このため、柴又小学校の現校舎と同規模の仮設校舎を、東柴又小学校の校庭に建設することになり、東柴又小学校の校庭はほぼ使用できなくなることが想定され、東柴又小学校の児童に過度の負担がかかります。

また、柴又小学校の新校舎の竣工後は、柴又小学校の児童のみが新校舎に通うことになるほか、改築後に新校舎に戻る柴又小学校の児童や、東柴又小学校の児童も先生や児童との人間関係が2度も大きく変わることは現実的ではないと考えています。このため、小学校の統合が前提となりますが、桜道中学校も含めた柴又地域の一連の学校改築を進めて、柴又地域全体の教育環境の向上を図ることが最善であると考えています。

Q9 一連の学校改築を進める場合、改築事業が完了するのはいつ頃ですか。

A9 一連の学校改築を進めていく場合は、どちらの敷地に両校の児童が通える新校舎を建てるのかといった改築のコンセプトや統合をどのような計画で進めていくかなどを2年程度かけて検討します。その後、設計を2年程度行ない、小学校の改築工事を3年程度行ないます。小学校の新校舎が竣工した後に、桜道中学校の工事が始まるので、すべての工事が完了するのは令和15年度を想定しています。

Q10 柴又小学校と東柴又小学校の児童が、工事期間中の仮校舎に通うに当たり、既存校舎は小さいのではないのでしょうか。

A10 現在の大きさでは教室数が足りないため、小規模の仮設校舎を建設します。

Q11 一連の学校改築を進める場合、どちらの学校を仮校舎としますか。また、新校舎は柴又小学校、東柴又小学校のどちらの敷地に建設しますか。

A11 令和5年6月に方針が決定した際には、令和5年11月頃に学校関係者や地域の方で構成する改築懇談会を立ち上げて、どちらの学校を仮校舎とするのか、どちらの敷地に新校舎を建てるのかを検討していきますので、現時点では決まっておりません。

Q12 統合するための仮設校舎は、校庭に建設しますか。校庭が工事期間中、使用できなくなるのではないのでしょうか。

A12 仮設校舎は不足する普通教室分のみを建設するので、校庭の一部が使えなくなる可能性はありますが、全く使えなくなるとは考えていません。

また、仮設校舎の規模や位置など具体的な内容は、改築の方針が決まった後に検討しますが、仮設校舎の工期は新校舎の工期よりも短く、一連の学校改築で建設する仮設校舎は、単独改築で建設する校舎よりも小規模であるため、校庭への影響は柴又小学校の単独改築より限定的になると考えています。

Q13 柴又小学校及び東柴又小学校の過去及び現在の児童数、学級数を教えてください。

A13 現在残っている最も古い記録である平成7年度の児童及び学級数は、柴又小学校が423人で13学級、東柴又小学校が463人で15学級です。

令和4年5月1日現在の児童・生徒数は、柴又小学校は326人で12学級、東柴又小学校が311人で12学級です。

Q14 今後の児童数や学級数をどのように見込んでいますか。

A14 柴又小学校は、令和14年度には、現在と同程度の児童数で、引き続き12学級で推移するものと見込んでいます。

東柴又小学校は、令和14年度には、児童数が70人ほど減少するものの、引き続き12学級で推移するものと見込んでいます。

なお、統合した場合、令和14年度までの児童数は550人から600人程度、学級数は18学級で推移するものと見込んでおります。

Q15 児童数推計はどのように算出していますか。

A15 通学区域内の住民基本台帳登録者数に、就学率などを考慮し算出しています。

Q16 同じ敷地内で両校の児童が勉強をすると、敷地内が過密になり、体育授業や外遊びなどに支障はありませんか。

A16 統合した場合、令和14年度までの児童数は550人から600人程度、学級数は18学級で推移するものと見込んでおります。区内には18学級以上の小学校が複数存

在し、学校運用の中で問題なく対応しています。また、18学級は、「葛飾区学校適正規模等に関する方針」において適正な規模としています。

Q17 統合後に建設する新校舎は、既存校舎よりも大きくなると思いますが、現在よりも校庭が狭くなるなど、改築後の教育環境はどのように考えていますか。

A17 柴又小学校と東柴又小学校のどちらの敷地に新校舎を建設するのか、どのような校舎とするのか、校庭はどのくらいの広さとするのかなどの具体的な課題は、柴又小学校を単独で改築するのか、一連の学校改築で進めるのかの方針を令和5年6月に決定した後に、次のステージである改築懇談会でワークショップを行いながら1つ1つ段階を踏んで検討していきたいと考えています。

Q18 柴又小学校と東柴又小学校が統合された場合、児童数に合わせて給食の食数を増やす必要がありますが、仮校舎の給食室を広げることや、設備を増やすことは難しいと思います。どのような対応を考えていますか。

A18 具体的な検討は今後行いますが、児童数が急増した学校では、調理釜の回転数を増やすことで食数の増加に対応しています。一連の学校改築を進める場合には、仮校舎での給食調理に支障がないように対応します。

Q19 一連の学校改築を進める際に、小学校の新校舎竣工後に桜道中学校が工事期間中に使用する仮校舎は、小学校に間借りするような状態になると思いますが、校庭や体育館の過密具合等について、説明会や資料配布できる見込み時期はいつですか。

A19 一連の学校改築の場合は、小学校の新校舎竣工後の空いた学校を仮校舎とするため、過密になる心配はないものと考えています。

Q20 狭い柴又小学校の敷地に柴又小学校と東柴又小学校の児童が通える規模の校舎を建設することは可能なのでしょうか。

A20 柴又小学校と東柴又小学校を統合した場合、児童数は550人から600人程度、18学級と推計しています。

18学級であれば、柴又小学校、東柴又小学校いずれの敷地でも校舎の建設は可能

と考えています。

Q21 柴又小学校の単独改築の場合と一連の学校改築の場合のそれぞれの着工後の体育授業や学校行事は、別の学校として行われますか、同一の学校として行われますか。

A21 柴又小学校の単独改築の場合の体育授業及び学校行事は、別の学校として実施します。

また、一連の学校改築の場合は、同一の学校として実施します。

Q22 現状及び統合後の児童一人当たりの敷地面積を教えてください。

A22 柴又小学校の敷地面積は、7,646 m²です。現在の児童1人当たりの敷地面積は、約23 m²です。東柴又小学校の敷地面積は、10,215 m²です。現在の児童1人当たりの敷地面積は、約33 m²です。

統合した場合の児童数を600人とし、柴又小学校の敷地に両校の児童が通う新校舎を建設した場合の児童1人当たりの敷地面積は、約13 m²です。東柴又小学校の敷地に両校の児童が通う新校舎を建設した場合の児童1人当たりの敷地面積は、約17 m²です。いずれの場合も、区内小学校の児童1人当たりの学校敷地面積の平均である約23 m²を下回りますが、同程度の学校は複数あり、問題はないものと考えています。

Q23 統合に当たってのデメリットを教えてください。

A23 一連の学校改築を進めるに当たっては、柴又小学校と東柴又小学校の統合が必要となります。地域の方々にとって愛着がある学校が統合されることで、寂しい、残念と感じる方がいることは承知しています。

また、統合することで通学区域が広がり、多くの児童が柴又街道を横断して通学することになります。通学路の安全をどう確保していくのかは課題と認識しています。

一連の学校改築を進めていく場合には、学校や警察とも連携を図り、より安全な通学路を選定することや、必要な場所に児童案内業務委託の案内員を配置するなど、通学の安全を確保するよう対応を検討していきます。

Q24 統合した場合、多くの児童が柴又街道を横断して通学することになりますが、保護者だけでは対応が難しいと思います。通学の安全確保をどのように行っていくですか。

A24 一連の学校改築を進めていく場合には、学校や警察とも連携を図り、より安全な通学路を選定することや、必要な場所に児童案内業務委託の案内員を配置するなど、対応を検討し通学の安全を確保していきます。

Q25 統合に当たって、一番負担がかかるのは、子どもたちです。環境が変わることで精神的に不安定になることや、いじめなどが起こる可能性もありますので、その点については手厚くケアしてください。

A25 過去に統合した学校では、統合前に学校同士の交流事業を2年間行い、両校の児童が触れ合える機会を設けています。仮に、一連の学校改築を進めていく場合は、ご指摘の課題についても対応していきます。

Q26 改築懇談会で実施するワークショップとはどのようなものですか。

A26 改築懇談会は、校長先生、副校長先生、学校評議員、PTA代表者、青少年委員、通学区域内の自治町会代表者など、日ごろから学校運営に深くかかわっている方々20人から30人程度で構成されます。

ワークショップでは、改築に当たっての課題について、少人数のグループに分かれて意見交換をしながら解決策の検討を行っております。

Q27 一連の学校改築後の空いた学校敷地は、どのように活用しますか。

A27 一連の学校改築を進めていく場合、改築後の跡地については、第二校庭など教育環境の向上に資するための活用を基本としつつ、地域の行政需要も踏まえて検討します。

Q28 改築校の事例として東金町小学校の避難所機能について教えてください。

A28 東金町小学校では、水害に備えて体育館を2階に設置し、近接する場所に備蓄倉庫を配置しています。また、エレベータ、非常用発電機、貯水機能付き給水管、防災井戸、マンホールトイレ、ヘリサインなどを設置しています。

Q29 一連の学校改築を進めていくに当たって、工事中の学校は、避難所としての利用ができなくなると思いますが、その分の代替の避難場所は確保できますか。

A29 改築期間中の避難所機能については、それぞれの学校の学校避難所運営会議において検討した上で、地域の皆様へ必要な情報提供をしていくこととなります。現時点で具体的な対応方法は決まっていますが、ご不安な点については、防災を所管する部署と遺漏がないように検討を進めていきます。

Q30 工事期間中、柴又小学校の体育館は、施設開放で使用できなくなりますか。

A30 柴又小学校の単独改築の場合は、体育館を残しながら改築を進めていくため、体育館開放に問題はないと考えています。

一連の学校改築の場合は、工事を行う一方の学校の体育館は、工事期間中の使用ができなくなります。

Q31 今後、近隣住民や保護者が意見を言う場はありますか。

A31 本説明会のほか令和5年4月までは、個別説明なども行いながら皆様のご意見をお聞きし、令和5年6月の区議会報告に向け、方針を定めていきたいと考えています。

また、方針を定めた後も、改築基本構想・基本計画案を作成した際や、基本設計案をまとめた際など、説明会を開催し、皆様のご意見を聞く機会を設けます。

Q32 柴又小学校と東柴又小学校の関係者が平等なところで話し合いをする期間が必要です。その期間がないまま令和5年6月までに方針を決めるというのは乱暴なことだと思えます。

A32 令和5年4月までは、地域住民の皆様や保護者のグループなどに個別に説明し、意見交換をする機会を十分に確保していきたいと考えています。色々なご意見を聞きながら、区として最終的に決定をしていきたいと考えています。

Q33 柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校とも耐震の基準は満たしていますか。

A33 3校とも耐震補強工事は行っているため、基準は満たしています。定期的な保全工事を行うことにより、80年間は施設として使用できると考えています。

Q34 東柴又小学校、桜道中学校とも建て替えをしなければいけない状況なのでしょうか、それとも改修工事でも対応できる状況なのでしょうか。

A34 東柴又小学校も桜道中学校も定期的な保全工事を行うことで、対応は可能な状況ですが、改築することで最新の教育環境を提供できるため、区としては一連の学校改築が最善と考えています。

Q35 改築後は、机が一回り大きくなると聞いています。改築中の仮校舎であっても大きい机を使用することや、図書室についても新校舎と同等の環境を用意するなど、最新の教育環境で学習することは可能でしょうか。

A35 既に改築している学校では、どのような普通教室、特別教室の配置をするのか、運動会の代替施設をどうするかなど、綿密に学校と調整し、授業運営に支障がないように進めています。最新の教育環境を実現するのは難しいですが、可能な限り教育環境を確保していきたいと考えています。

Q36 最新の教育環境の説明の中で、廊下と普通教室を一体で利用できるとのことですが、具体的な利用方法を教えてください。

A36 普通教室と廊下の一体利用方法については、グループに分かれて討議、発表をする際やクラス全体で討議する際などに活用しています。

Q37 これまで改築を進める中で、児童の精神的な問題などは起きていますか。

A37 工事の振動や騒音については、できる限りの対策をとっていますが、不登校気味になった児童がおり、保護者から相談を受けた事例があります。

Q38 仮に、一連の学校改築を進める場合にも、工事の騒音や振動を完全に防げるわけではないと思いますが、耳当てを配布するなどの対応はとれますか。

A38 学校や保護者のご意見を聞いた上で、適切に対応します。

Q39 統合することになった場合、保護者に賛成・反対の権限はありますか。また、区議会での議決となりますか。

A39 保護者や地域の方々に区の考え方を丁寧に説明し、ご意見を十分にお伺いした上で、最終的には区が責任をもって決定します。決定を保護者にゆだねることは考えておりません。

統合する場合には、区議会に報告をした上で、統合にかかわる予算の議決をいただくことになります。

Q40 柴又小学校と東柴又小学校を合併するという計画は絶対にはないと言えますか。

A40 言えません。柴又小学校と東柴又小学校の統合が前提となる一連の学校改築を進める可能性があります。

Q41 説明会の周知はどのように行いましたか。

A41 以下の方々に案内文をお渡しするとともに、区ホームページに説明会の開催案内を掲載、通学区域内の町会掲示板に案内文を掲示、説明動画を区公式 YouTube に掲載しております。

- ・柴又小学校及び東柴又小学校の敷地からおおむね 30m 範囲の近隣の方々
- ・柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校の全保護者
- ・柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校の通学区域内の保育園、幼稚園の保護者

Q42 改築に当たってプール授業はどうなりますか。

A42 教育委員会の方針として、小学校の水泳指導は順次、校外の屋内温水プール活用へと移行していき、小学校の改築に当たっては、新校舎にプールを設置しないこととしておりますので、この方針に沿って改築を進めます。

Q43 3校のうち最も古い桜道中学校ではなく、柴又小学校が改築校に選定された理由を教えてください。

A43 平成30年度に、今後の学級数の推計や学校施設の老朽化の状況などを踏まえるとともに、地域バランスも考慮しながら、葛飾区を7つのエリアに分けて1校ずつ改築校を選定しました。

柴又・高砂地域においては、11の小学校と中学校の中から、学級数推計や今後20年間の保全費用を考慮し、柴又小学校を改築校として決定しました。

Q44 柴又小学校と東柴又小学校が統合された場合、給食委託の作業員数はどうなりますか。

A44 今後の検討によりますが、委託会社が、食数に合わせて必要な作業員を配置するものと考えています。

Q45 区内の子供の減少を理由の1つに統廃合の話が出ているということですが、新しい若いご家族の流入、転入などを拒む動きととらえかねない印象です。子の増加を施策として魅力のある学校運営にしてください。

A45 「葛飾区学校適正規模等に関する方針」では、学校適正規模を下回り、将来的に児童数の減少が不可避であると見込まれる場合には、近隣の学校との統合により、小規模化の解消を図る必要があるとしています。

東柴又小学校や桜道中学校を含めた柴又地域の一連の学校改築は、柴又小学校と東柴又小学校の統合が前提となりますが、両校とも今後10年間は、学校適正規模を維持すると見込んでおり、小規模化の解消を目的とするものではございません。

一連の学校改築は、柴又小学校の単独改築に課題があること、東柴又小学校、桜道中学校改築を検討する時期が近づいていることを踏まえ、どのような改築の進め方が最善かと検討する中で考えたものです。

学校は、教育の場であることはもちろん、地域のコミュニティの核となる施設であることから、学校改築は、地域に新しい人が入ってくる素地となり、地域の活性化のきっかけとなるものと考えております。

仮に、一連の学校改築を進める場合は、柴又地域の教育環境の充実はもとより、防災機能の向上や一連の学校改築後の学校跡地も含めて、地域の子どもたちのために有効な方策を地域の皆様と一緒に検討していきたいと考えております。

2 参加者からのご意見

- 柴又小学校を単独で改築するのは、教育環境から厳しいと思います。
- 柴又小学校を単独で改築するよりも、一連の学校改築を進める方が良いと思います。
- 一連の学校改築は、子どもたちのためになると思います。
- 1校を改築中の仮校舎として小学校の改築を進め、桜道中学校の改築でも仮校舎とすることは、コスト面でも工期の面でも素晴らしい考えだと思いました。
- 個人的な思いとしては、柴又小学校、東柴又小学校とも存続してほしいです。
- 学校は地域の財産であり、残していくことが大事と考えています。住み良い街を作るために、学校は基本線であり、3校とも改築することをお願いします。
- 子どもが通っている学校がなくなってしまうのは寂しいので、統合には反対です。
- 統合しなくても、隣の公団住宅の敷地を活用すれば、3校を1つ1つ改築してもスムーズに改築を進めることができると思います。
- 統合することでどんな良いことがあり、どんな問題点があるのかについての説明がないので、今の段階では、統合の話がきちんと理解できません。
- 説明会参加者が少ないので、周知内容を工夫し再度周知してください。
- 説明会の題名が、「柴又小学校改築説明会」では、東柴又小学校の関係者が当事者意識を持ちにくいと感じるので、今後の説明会においては、関係者に伝わるような題名としてください。
- 学校評議員を対象に説明した方が良いと思います。
- 方針を決定するに当たっては、子どもたちにとって何が良いのかという視点で判断してください。

- 学校周辺の土地を取得し学校敷地を広げることも含めて、学校としてどうあるべきかという視点で検討を進めてください。
- 開催通知に QR コードを記載し、YouTube 動画を配信することはとても良いと思いますので、今後も継続してください。
- 改築に当たっては、災害時に電気やガスなどのインフラが機能しなくなった際の物資を配布する拠点として必要な機能を考慮してほしいと思います。
- 戦争など想定外の有事に備え、児童の避難場所として地下シェルターを設置してほしいと思います。
- 改築に当たっては、防災部門との情報共有、連携をお願いします。
- 4月は、PTA など学校関係者の入れ替えがあるので、統合の決定に当たっては、丁寧に時間をかけた方が良いと思います。
- 6月以降の説明会では、統合についてもはっきり説明してください。
- これから入学する子どもやその保護者のことを考えて、学校選択の時期に間に合うように、できるだけ早く方針を決めて周知してください。
- 東柴又小学校は柴又小学校に比べ、敷地が広く、柴又街道から少し離れているので、東柴又小学校に新校舎を建てた方が良いと思います。
- PTA の本部など一部の意見ではなく、保護者会で統合について説明し、一人一人に意見を聞いてください。
- アプリを使用し、保護者にアンケートをとることができます。統合について、賛成・反対や説明会の希望等を保護者にアンケートを取ってほしいです。